

# 令和3年度 第1回湖東圏域公共交通活性化協議会総会

開催日 令和3年7月14日（水）10時30分～12時00分

開催場所 大学サテライト・プラザ彦根

出席者 別紙参照

## 1 開会

## 2 議事

(1) 「第1号議案 専決処分につき承認を求めること」について（資料1）

- ・ 第1号議案について、事務局より議案書に基づき説明及び報告がなされ、異議無く承認された。

(2) 「第2号議案 令和2年度事業報告」「第3号議案 令和2年度決算報告」について（資料2、3）

- ・ 第2号議案、第3号議案について、事務局より議案書に基づき説明及び報告がなされ、以下の通り質疑応答が行われた。

### ● 野村委員（（社）滋賀県バス協会専務理事）

- ・ 資料は事前に送付されているため、説明内容を事前に把握しているが、もう少し詳しい説明があると期待していたのに残念である。
- ・ 資料2のP.1には路線バスの運行状況の記載や資料3にある路線バス実証運行として212万円の予算となっているが、十分に説明がされているとは思えない。資料3のP.1～3を簡単に説明されたが、もう少し丁寧な説明をお願いしたい。
- ・ P.1の路線バスの運行状況の表の説明も然り、P.3に効果検証したとあるが、結果がどうだったのかの説明が抜けているため、説明をお願いしたい。
- ・ 2点目として、愛のりタクシーの国庫補助金について、数値を含めてもう少し丁寧な説明が欲しい。
- ・ 3点目として、地域内フィーダー系統の36,490,000円は協調補助と理解しているが、県、市町の内訳を教えて欲しい。

### ● 事務局

- ・ 路線バスの運行見直しは毎年運行事業者から乗降データを借用して、便別・停留所別の分析を実施し、ダイヤ見直しを行っている。効果検証について、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で利用が低迷しているため、直近の経年変化を追うことが難しく、現在も分析中で今後も継続していく。今年度以降はICカードのデータも入手できるため、引き続き分析を行い、ダイヤ改正等に活用していきたい。
- ・ 2点目と3点目は愛のりタクシーの費用負担と合わせて説明する。愛のりタクシーの運行事業費は、湖東圏域全体で73,869,968円である。協議会ではメーター運賃を把握し、利用者の運賃を差し引いた欠損額を市町が負担している。このうち、地域内フィーダー系統として国庫補助金を頂いたのが、36,490,000円である。残りが各市町が

実質負担した金額となるが、地域内フィーダー系統の補助金の内訳は、彦根市が約 1,350 万円、愛荘町が約 460 万円、豊郷町が約 130 万円、甲良町が約 530 万円、多賀町が約 1,270 万円で、利用状況に応じて各市町で按分を行っている。

- ・ 国庫補助は協調補助ではなく、補助金を各市町に返戻金として返している。

(3) 「第 4 号議案 愛のりタクシー停留所の新設および移設」について (資料 4、4-2)

- ・ 第 4 号議案について、事務局より議案書に基づき説明及び報告がなされ、以下の通り質疑応答が行われた。

● 若林委員 (旧多賀町公共交通会議委員 副会長)

- ・ たが 3 路線が「フレンドマート秦荘前」に行けるようになったが、河内線や大君ヶ畑線が多賀駅経由なのは理解できるが、萱原線は多賀駅経由と富之尾から犬上川を渡って甲良町経由でフレンドマートに行くことができる。萱原線も決まりとして多賀駅経由ということか。

● 事務局

- ・ 今までも甲良町役場近辺の丸善まで路線があり、丸善の閉店に伴い路線延伸してフレンドマート秦荘まで行けるようにしている。そのため、以前から多賀駅経由の路線となっている。

● 若林委員 (旧多賀町公共交通会議委員 副会長)

- ・ 以前から 2 人同時に予約すると半額となるが、それも変わらず利用できるのか。

● 事務局

- ・ ふく割に該当するが、平成 31 年から 2 人以上で同時に予約すると 1 人当たりの運賃が半額となる制度であるが、現在も継続して行っている。

(4) 「第 5 号議案 路線バス利用促進企画」について (資料 5)

- ・ 第 5 号議案について、事務局より議案書に基づき説明及び報告がなされ、以下の通り質疑応答が行われた。

● 轟会長代理 (滋賀県立大学准教授)

- ・ 企画の経緯や背景を補足説明していただきたい。

● 事務局

- ・ 例年、夏休み期間に子どもを対象として運賃が無料となる、ECO サマーという企画を実施していたが、高齢者にも路線バスを利用してもらう取り組みをしたいと思っており、せっかくの機会なので今回は年齢制限を設けず利用者全員を無料とする企画を考えた。
- ・ この企画をきっかけに湖東圏域のどこに、どの路線を使って行けるのかを知ってもらいたいと考えている。周知チラシにも掲載して考える機会を与えたい。

● 上野委員 (甲良町老人クラブ連合会 顧問)

- ・ 対象が 9 路線と記載してあるが、重点的に行いたいと考えている路線はあるのか。路線全部を同じようにみていくのは無理があり、重点的に体験してもらった方が良いの

ではないか。

- ・ 高齢者に利用してもらうためにも、ご城下巡回バスも対象にした方が良くはないか。

● 事務局

- ・ 今回の企画は、運賃を無料にすることと合わせて、利用者を対象としたアンケートを実施し、回答者から抽選でプレゼントをすることを考えている。どの路線をどのように利用されても同じように対応させて頂きたいと考えているため、特定の路線を重点的に実施することは難しい。
- ・ ご城下巡回バスは運行目的が観光客向けになっており、今回の企画は地元の路線を見直し利用してもらうきっかけを作ってもらうことを想定しているため、観光を目的とするバスは対象外としたい。

● 轟会長代理（滋賀県立大学准教授）

- ・ チラシやアンケートはいつまでであれば、意見を反映していただけるのか。

● 事務局

- ・ 時間がなくて大変恐縮だが、7月中に事務局まで意見をお願いしたい。

● 轟会長代理（滋賀県立大学准教授）

- ・ ターゲットをある程度明確にしていく必要がある。高齢者や子ども、中間世代でどのような利用が考えられるのかをアンケートやチラシに反映できると良い。
- ・ 観光客以外でも市外から日常的に通勤・通学で利用されている人も色々な利用可能性が考えられるため、良いアイデアがあれば事務局まで意見をお願いしたい。

(5) 「報告事項 近江鉄道線再編協議の経過報告」について（資料6）

- ・ 報告事項について、事務局より資料説明及び報告がなされ、以下の通り質疑応答が行われた。

● 高橋委員（飯田委員の代理）（近江鉄道株式会社）

- ・ 再生協議会にて弊社が引き続き運行を担うことで合意して頂いたため、今後はイベント等を通じて地域の方と一緒に近江鉄道の活性化を図っていきたい。

● 福島委員（滋賀県土木交通部交通戦略課 課長補佐）

- ・ 県としても近江鉄道を地域の鉄道として重視しており、皆様と一緒に盛り上げていきたい。

(6) 「報告事項 路線バスにおけるICOCA導入」について（当日配布資料）

- ・ 報告事項について、湖国バス株式会社より資料説明及び報告がなされ、以下の通り質疑応答が行われた。

● 若林委員（旧多賀町公共交通会議委員 副会長）

- ・ ICOCA 定期券とはどういうものか教えて欲しい。

● 近藤委員（北村委員の代理）（湖国バス株式会社）

- ・ JR が発行している ICOCA に路線バスの定期も書き込むことで、1枚で JR と路線バスの定期が一緒になっている。当然、JR だけ、路線バスだけの個別の定期券でも買える。

● 轟会長代理（滋賀県立大学准教授）

- ・ 定期券でなくてもチャージすれば回数券のように ICOCA を利用できる。

● 轟会長代理（滋賀県立大学准教授）

- ・ 資料 7 を読み取ることは難しいが、合計の 2019 と 2021 を比較したときに、定期券利用は増え、回数券と SF 利用を足すと 2019 と同程度であるため、定期券や回数券等利用者は今年度回復してきている。
- ・ ただ、現金は半減しているため、観光客も含まれるかもしれないが、引き続き分析を実施し、情報を共有していただきたい。

(7) 「報告事項 愛のりタクシー体験乗車事業」について（資料 8）

- ・ 報告事項について、事務局より議案書に基づき説明及び報告がなされ、以下の通り質疑応答が行われた。

● 郷野委員（彦根市老人クラブ連合会 会長）

- ・ 市から協力要請があったため、中老人福祉センターは愛のりタクシーを利用されている方もいることから、条件に合うように人選に協力したい。
- ・ 中老人福祉センターは 65 歳以上が利用し、段々高齢化が進んでおり、免許返納された方もいるため、今回の企画は良い機会となる。

● 上野委員（甲良町老人クラブ連合会 顧問）

- ・ 愛のりタクシーは便宜を図る交通手段であることは、大変良く知られていると理解している。愛のりタクシーの導入当時（2012 年ぐらい）に町担当者がサロンや老人クラブ、区長会等で説明し、意見を聞いてくれた。
- ・ 今回の企画をやることで愛のりタクシーを知ってもらうことも大事だが、予約を誰かが代わりにするなど組織の中でやっていかないと広がらない。組織での助け合いを発信していくのはどうか。
- ・ 免許返納してから何回も利用しているが、一人で利用することはなく、必ず複数人が乗ってくる。コロナウイルス感染症拡大の中、利用者を守るためにも乗車マナーを守るように乗務員から周知する必要があるのではないか。マスク装着や飲食禁止などの乗車マナーも含めて講習を実施していただきたい。

● 事務局

- ・ 意見を伺い、導入当時から甲良町は周知徹底を熱心に行ったと改めて知ることができた。湖東圏域では印刷物配布による周知や啓発が中心に行っているが、事務局としてはまだ周知が足りないと考えており、その人たちにどうやって周知していくかを考える必要がある。
- ・ 今回の企画で、なぜ今まで利用してこなかったのか、発信していた周知が届いていたのか等をお聞きして、今後のヒントを探りたい。

● 轟会長代理（滋賀県立大学准教授）

- ・ 今回の企画は彦根市老人クラブ連合会のご協力のもと、聞き取り調査も実施していただけるので、色々な意見を聞いていただきたい。

(8) その他

- ・ 全体を通して、以下の通り質疑応答が行われた。
  - 轟会長代理（滋賀県立大学准教授）
    - ・ JR が 10 月にダイヤ改正をすると聞いており、関西広域連合からも要望が出されているため、ダイヤ改正の背景も含めて説明をお願いしたい。
  - 西川委員（西日本旅客鉄道株式会社 彦根駅長）
    - ・ コロナ禍において利用者が大幅に減少したため、米原～長浜間の新快速電車について 10 時前～14 時ぐらいの約 5 時間で上下運転取りやめをする予定である。朝夕の通勤・通学には影響がないように行う予定であるため、ご協力をお願いしたい。
    - ・ 通勤客が戻りつつあるが、約 1～2 割は戻ってきておらず、観光客も来訪していないため、今後の利用状況を見つつ、引き続きダイヤ改正を検討していく予定である。
    - ・ 春はまだプレスも発表されておらず、未確定である。
  - 轟会長代理（滋賀県立大学准教授）
    - ・ 2 点提案したい。
    - ・ 事前送付の資料について、事前でも事後でも良いが、質問や意見を一定集められるような場を設ける、用紙を配布するなど、フィードバックややり取りができる仕組みを作ってはどうか。別途資料や個別報告等でも良いので、きめ細かく対応できるようにしていきたい。
    - ・ 総会について、オンライン参加（併用でも良い）ができるように会議運営を検討していただきたい。
  - 事務局
    - ・ 会議運営は改善を図っていきたい。
- ・ 令和 3 年 12 月末に第 2 回総会を対面で予定しており、日時は後日調整する旨の連絡があった。

3 閉会

以上